

**CYBERNET**

証券コード4312

# サイバネットシステム株式会社

2023年12月期 第1四半期決算補足資料

2023年5月10日



1

2023年12月期第1四半期決算説明

2

2023年12月期予想

3

参考資料

# 外部環境認識と当社第1四半期業績への影響

## 外部環境認識

- 新型コロナウイルス感染者の減少や行動制限の緩和による経済活動の正常化
- ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の高止まりやインフレの継続
- 金融引き締め、巣ごもり消費の一巡などを背景に、世界経済の穏やかな減速
- 中国のゼロコロナ政策の解除による経済活動の正常化
- 米中対立などの地政学リスクへの懸念
- 企業の競争優位性確保を目的としたDX、カーボンニュートラルの実現を目的としたGXの推進

## 当社第1四半期業績への影響

- 海外においては、世界経済の穏やかな減速、地政学リスクの高まりなどを背景に、欧米、アジア等で投資に慎重な姿勢はあるが、売上高は増収
- 日本においては、セキュリティソリューションの販売が好調。お客様のDX促進を支援するエンジニアリングサービスが拡大

# 2023年12月期第1四半期の業績

単位：百万円

- 売上高は、シミュレーションの海外事業およびITが好調に推移したことなどにより増収。
- 営業利益は、人的資本投資に伴う人件費や募集採用費の増加、営業活動量の増加に伴う旅費交通費の増加などにより減益。

	22/12期 1Q	23/12期 1Q	前期比	23/12期 通期予想	進捗率
売上高	4,636	4,895	+5.6%	22,000	22.3%
売上総利益	1,923	1,912	-0.6%	-	-
販売費および 一般管理費	1,451	1,612	+11.0%	-	-
営業利益	471	300	-36.3%	1,850	16.3%
(営業利益率)	10.2%	6.1%	-	8.4%	-
経常利益	446	317	-28.9%	1,850	17.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	263	168	-36.3%	1,050	16.0%
EBITDA	531	364	-31.4%	2,170	16.8%
(EBITDAマージン)	11.5%	7.4%	-	9.9%	-
EPS (円)	8.48	5.44	-	33.99	-
期末従業員数	563名	585名	+22名	-	-

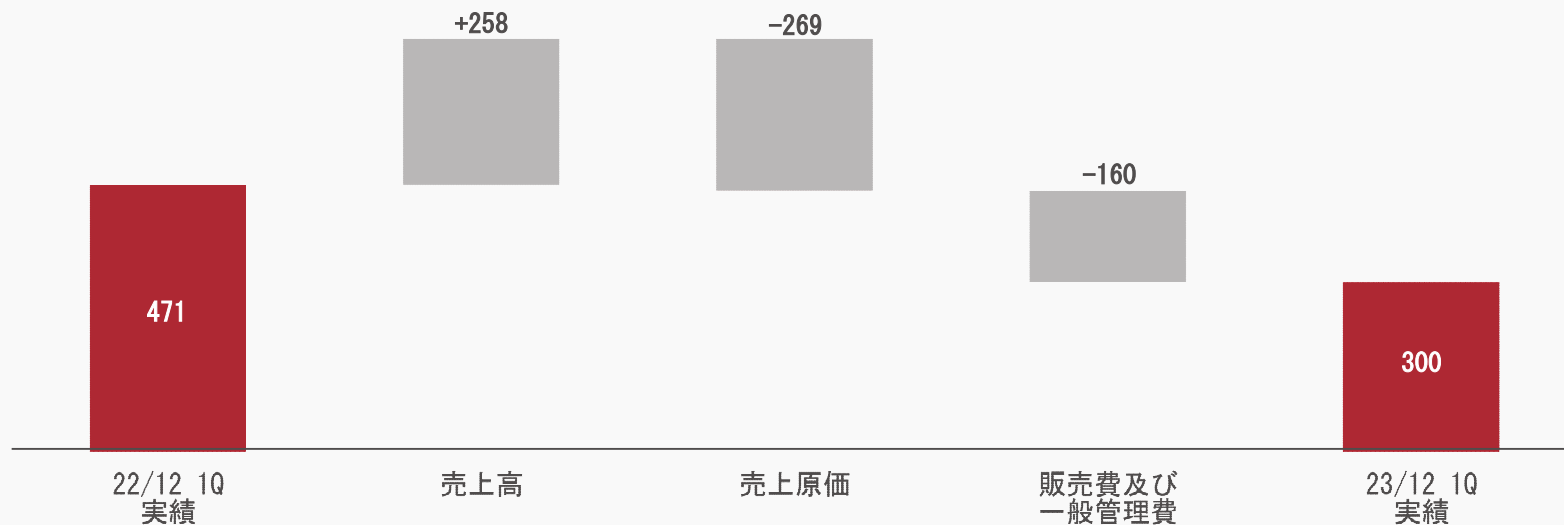
※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業

※ IT：ITソリューションサービス事業

※ EBITDA：営業利益 + 減価償却費

## 営業利益の増減要因（前期差）

- 売上高は増加したものの、労務費の増加等による売上原価の増加、人件費、募集採用費や旅費交通費の増加等による販売費及び一般管理費の増加により減益。



単位：百万円

# セグメント別売上高・営業利益の状況

単位：百万円

## シミュレーションセグメント

- 国内における新規ライセンス販売は低調も、保守契約の更新及び海外における販売が好調に推移。AI、AR関連のエンジニアリングサービスなどが好調に推移したこと等により増収。人件費の増加等により減益。

## ITセグメント

- 次世代型エンドポイントセキュリティの販売やクラウド環境向けセキュリティソリューションの販売が好調に推移したこと等により増収。円安等による仕入原価の上昇や人件費の増加等により減益。

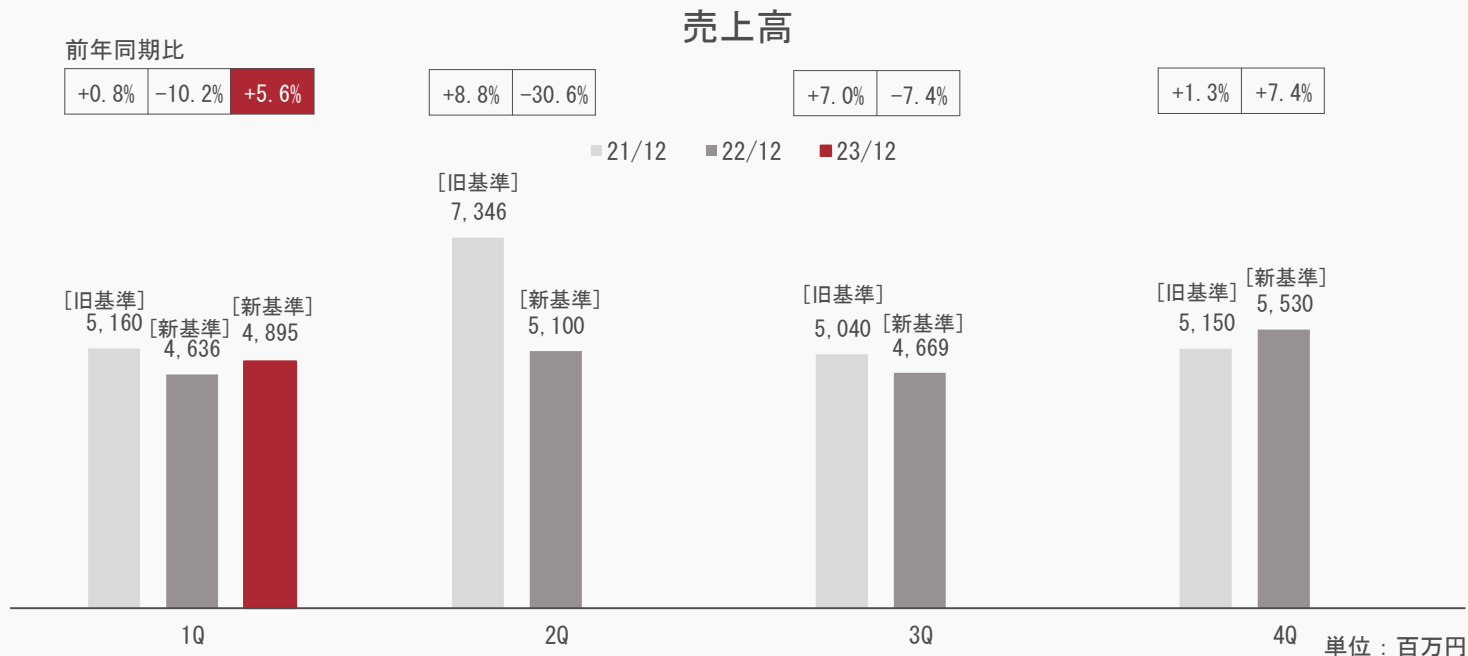
※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業

※ IT：ITソリューションサービス事業

	22/12期 1Q	23/12期 1Q	前期比
売上高	4,636	4,895	+5.6%
シミュレーション	3,653	3,790	+3.8%
IT	982	1,104	+12.4%
調整額	-	-	-
営業利益	471	300	-36.3%
シミュレーション	655	540	-17.6%
IT	142	115	-18.9%
調整額	-326	-355	-

# 売上高の四半期推移

■ 第1四半期は、シミュレーションセグメントの海外事業やITセグメントが好調に推移し前期比+5.6%。



※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用し、過年度の遡及修正は行っていないため、前々期値は旧基準。

# バランスシートの状況

- 金融資産は179百万円増加、純資産合計は266百万円減少、自己資本比率は61.4%と1.1pt上昇。
- 売上債権が921百万円減少したこと等により、流動資産が減少。
- 買掛金が388百万円減少したこと等により、流動負債が減少。

単位：百万円

	22/12末	23/12 10末	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>22,231</b>	<b>21,438</b>	<b>-792</b>
<b>金融資産(※)</b>	<b>15,348</b>	<b>15,527</b>	<b>+179</b>
現金及び預金	8,348	9,327	+979
有価証券	7,000	6,200	-800
固定資産	1,924	1,883	-40
<b>資産合計</b>	<b>24,155</b>	<b>23,321</b>	<b>-833</b>
<b>負債合計</b>	<b>9,405</b>	<b>8,838</b>	<b>-567</b>
流動負債	8,359	7,774	-585
固定負債	1,046	1,063	+17
<b>純資産合計</b>	<b>14,749</b>	<b>14,483</b>	<b>-266</b>
株主資本	14,212	13,942	-270
<b>負債純資産合計</b>	<b>24,155</b>	<b>23,321</b>	<b>-833</b>
自己資本比率	60.3%	61.4%	+1.1pt

※ 金融資産：現金及び預金、有価証券、短期貸付金の合計



# キャッシュ・フローの状況

## 営業活動によるCF

- 売上債権の減少、賞与引当金の増加等により前期末比プラス。

## 投資活動によるCF

- 前期にあった貸付金の回収による収入が今期は無いこと等により前期比マイナス。

## 財務活動によるCF

- 前期にあった自己株式の取得及び非支配株主への払戻による支出が今期は無いこと等により前期比プラス。

単位：百万円

	22/12期 1Q	23/12期 1Q	前期差
営業キャッシュ・フロー	-460	713	+1,174
投資キャッシュ・フロー	3,472	-1,312	-4,784
財務キャッシュ・フロー	-836	-437	+398
現金・現金同等物の期末残高	14,708	11,728	-2,979

# セグメント別形態別売上高

単位：百万円

	22/12期 1Q		23/12期 1Q		前期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	4,636	100.0%	4,895	100.0%	+5.6%
シミュレーション	3,653	78.8%	3,790	77.4%	+3.8%
代理店	2,256	48.7%	2,242	45.8%	-0.6%
自社開発製品	805	17.4%	888	18.1%	+10.3%
サービス	591	12.8%	660	13.5%	+11.7%
IT	982	21.2%	1,104	22.6%	+12.4%
代理店	846	18.3%	950	19.4%	+12.2%
自社開発製品	84	1.8%	94	1.9%	+12.1%
サービス	51	1.1%	59	1.2%	+15.5%

※ 一部販売形態を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。

# 形態別売上高

単位：百万円

	22/12期 1Q		23/12期 1Q		前期比
	実績	構成比	実績	構成比	
代理店	3,103	66.9%	3,192	65.2%	+2.9%
自社開発製品	889	19.2%	982	20.1%	+10.4%
サービス	642	13.9%	720	14.7%	+12.0%
合計	4,636	100.0%	4,895	100.0%	+5.6%

※ 一部販売形態を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。

# 地域別売上高

単位：百万円

	22/12期 1Q		23/12期 1Q		前期比
	実績	構成比	実績	構成比	
日本	3,745	80.8%	3,770	77.0%	+0.7%
アジア	322	7.0%	408	8.3%	+26.6%
北米	377	8.2%	513	10.5%	+35.9%
欧州	176	3.8%	194	4.0%	+9.8%
その他	13	0.3%	8	0.2%	-39.3%
合計	4,636	100.0%	4,895	100.0%	+5.6%

# [個別]業種別売上高

単位：百万円

	22/12期 1Q		23/12期 1Q		前期比
	実績	構成比	実績	構成比	
電気機器	773	20.9%	788	21.1%	+1.8%
機械・精密機器	490	13.2%	522	14.0%	+6.5%
輸送用機器	497	13.4%	409	11.0%	-17.7%
その他製造業	699	18.9%	715	19.1%	+2.3%
教育・官公庁	364	9.8%	353	9.5%	-3.0%
情報・通信	222	6.0%	249	6.7%	+11.8%
その他	654	17.7%	702	18.8%	+7.3%
合計	3,703	100.0%	3,741	100.0%	+1.0%

※ 一部顧客業種を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。

# [個別] 契約形態別売上高

単位：百万円

	22/12期 1Q		23/12期 1Q		前期比
	実績	構成比	実績	構成比	
ライセンス形態	2,941	100.0%	3,046	100.0%	+3.6%
新規契約	980	33.3%	861	28.3%	-12.2%
更新契約	1,961	66.7%	2,185	71.7%	+11.4%
ライセンス形態以外	762		694		-8.8%
合計	3,703		3,741		+1.0%

※ 一部販売形態を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。

1

2023年12月期第1四半期決算説明

2

2023年12月期予想

3

参考資料

# 2023年12月期 業績予想

- 売上高は、中期経営計画に掲げる「自社開発製品の強化」、「アジア事業の拡大」などを推進し、前期比10.4%増の22,000百万円を見込む。

単位：百万円

	22/12期 実績	23/12期 予想	前期比
売上高	19,936	22,000	+10.4%
営業利益	1,757	1,850	+5.2%
(営業利益率)	8.8%	8.4%	-
経常利益	1,693	1,850	+9.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	999	1,050	+5.0%
EBITDA	2,014	2,170	+7.7%
(EBITDAマージン)	10.1%	9.9%	-
EPS (円)	32.31	33.99	+5.0%
ROE	6.7%	7.2%	-

※ EBITDA：営業利益 + 減価償却費

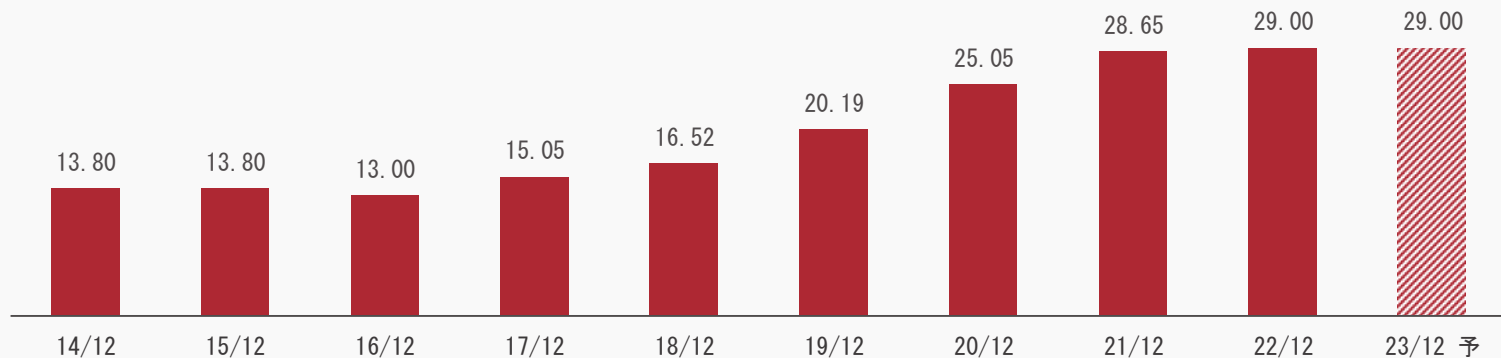


# 2023年12月期 配当予想

■ 1株当たり29.00円の配当を予定。

株主還元に関する基本方針：株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題と位置付け、財務の健全性を維持しながら、資本効率を高める。配当は、当面の間、安定配当と継続的な増配を重要視し、「親会社株主に帰属する当期純利益」の範囲を原則として、純資産（自己資本）配当率（DOE）6.0%を配当金額の目安とする。

配当額



単位：円

1

2023年12月期第1四半期決算説明

2

2023年12月期予想

3

参考資料

# 会社概要

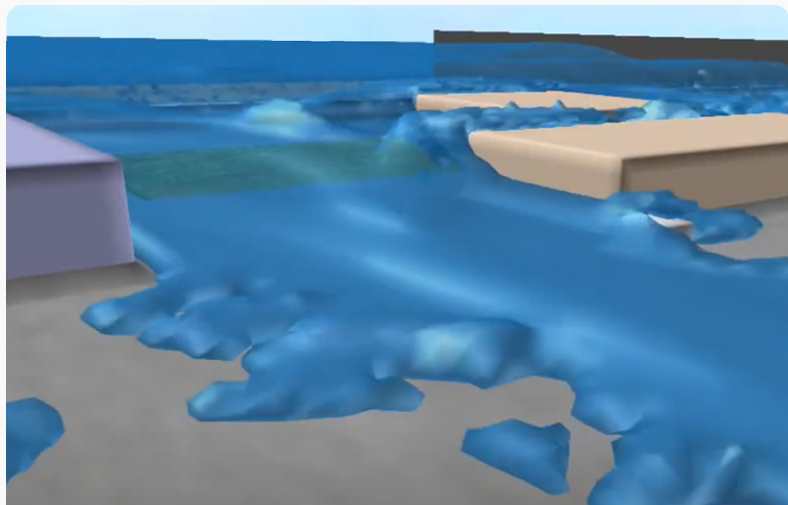
名称	サイバネットシステム株式会社（東証スタンダード市場 4312） Cybernet Systems Co., Ltd.
本社	東京都千代田区神田練堀町3番地 富士ソフトビル
拠点	西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
設立	1985年4月17日
資本金	995百万円
代表者	代表取締役 安江 令子
社員数	571名（連結）、335名（単体）（2022年12月31日現在）
事業内容	CAE、MBSE/MBD、プラットフォーム、IoT/XR、サイバーセキュリティ分野のソフトウェア、サービス（技術サポート、コンサルティング、導入支援セミナー、CAE総合教育等）等の提供
開発元提携先	Ansys社、Broadcom社など米国中心に35社以上
連結子会社	<p>【国内子会社】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>サイバネットMBS E株式会社</li></ul> <p>【開発子会社】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Sigmatrrix, LLC（米国）</li><li>Maplesoft（カナダ）</li><li>Noesis Solutions NV（ベルギー）</li></ul> <p>【販売子会社】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>莎益博工程系統開発（上海）有限公司（中国）</li><li>思渤科技股份有限公司（台湾）</li><li>CYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア）</li></ul>

# 当社はシミュレーションのリーディングカンパニーを目指します。

当社のシミュレーション技術は、**モノづくりの開発・設計工程**において、コンピュータ上で数値シミュレーションを行い、製品の性能や信頼を予測することで、**試作回数の削減、開発スピードの短縮、コストダウン、イノベーション**に貢献しています。**モノづくりに限らず**、サステナビリティ等の社会課題の解決においても、シミュレーション技術が不可欠であり、活躍の場を広げています。



様々な領域でシミュレーションが活用されています。



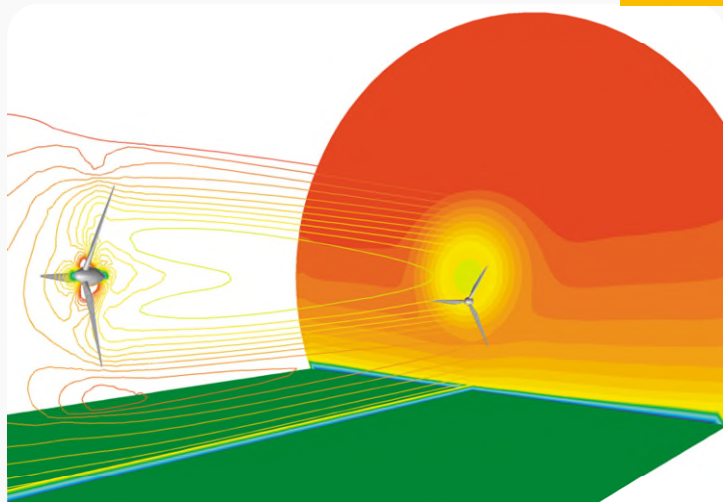
津波のシミュレーション結果を可視化し、  
災害の影響を再現



ドローンの振動およびブレード形状の最適な設計に貢献

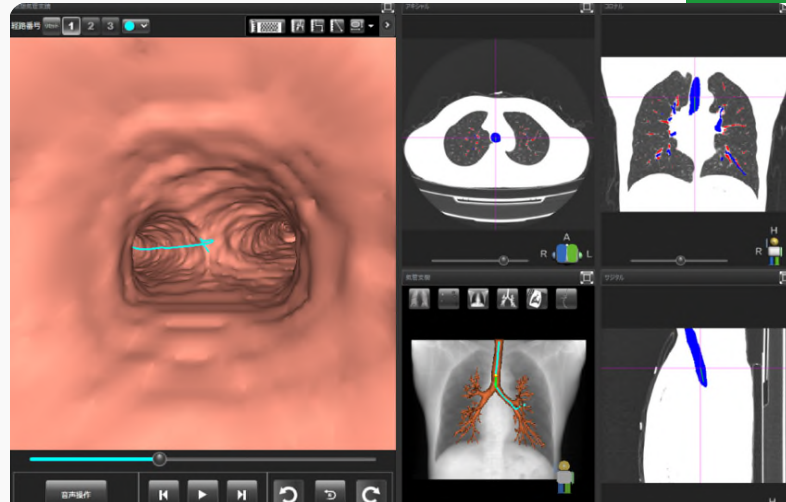
# シミュレーションはサステナビリティの実現には不可欠な技術です。

7 エネルギー効率を  
もたらすために



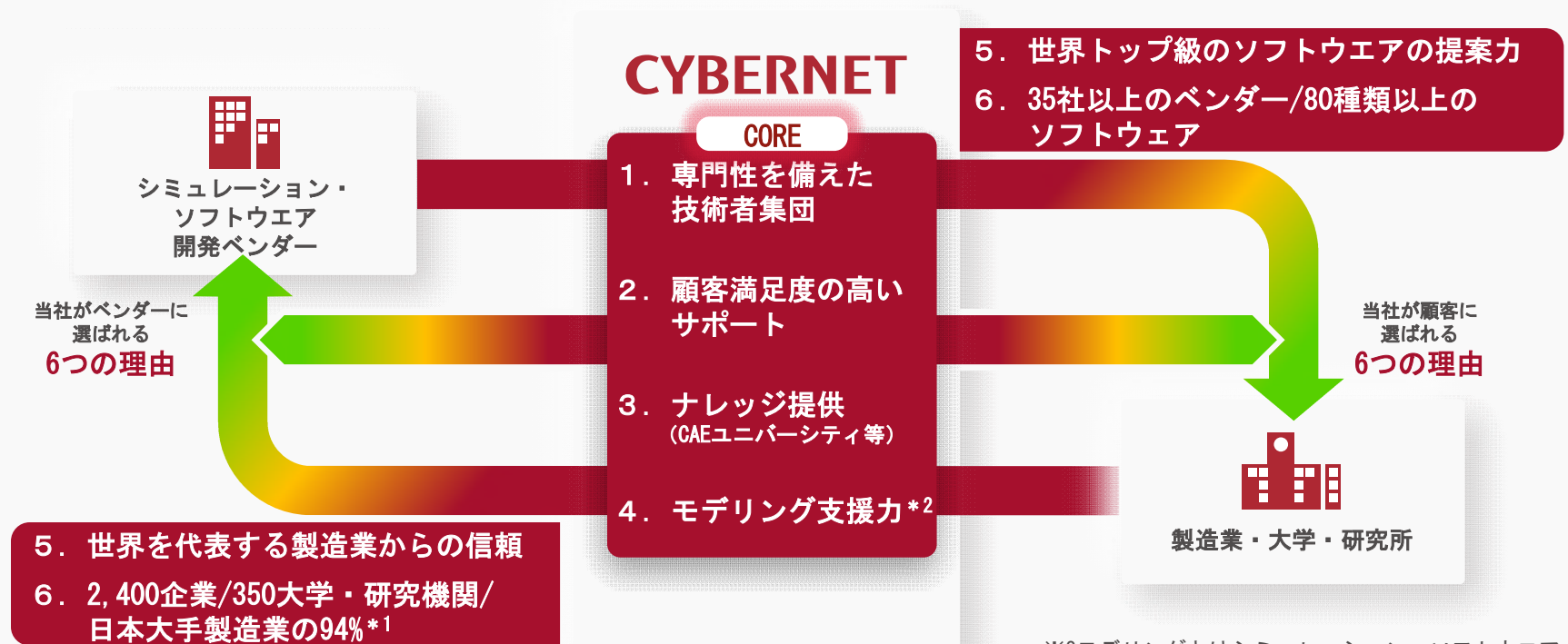
風力発電装置の発電効率、安全性向上に貢献

3 すべての人に  
健康と福祉を



内視鏡検査結果をリアルタイムに合成表示することで  
医師の診断を支援

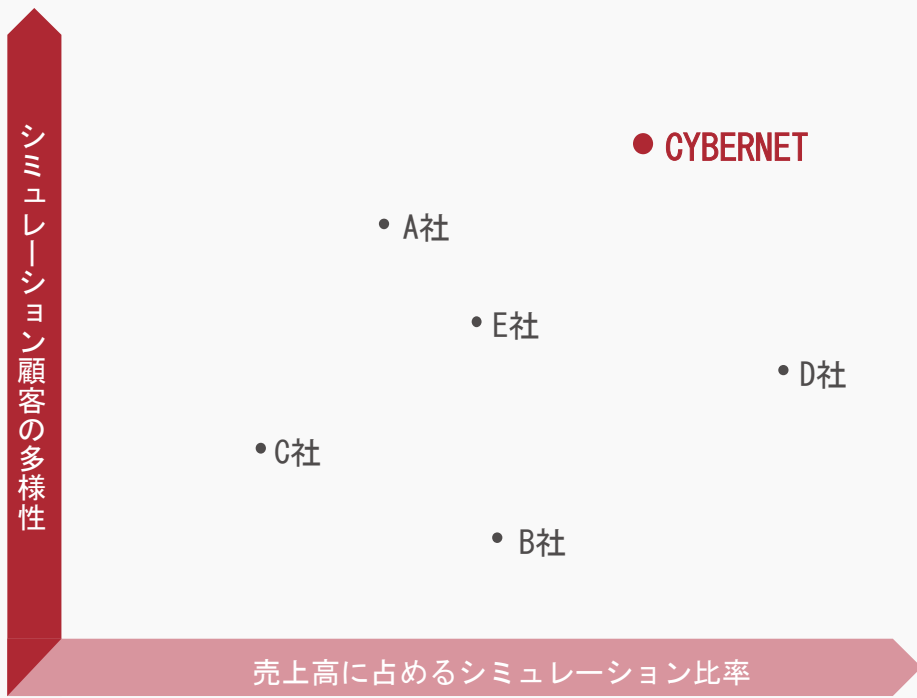
# 技術力、サポート力、ナレッジ提供力、モデリング支援力等が当社の競争力の源泉です。



※1食品・非製造業を除く上場企業の売上上位100社について過去3年の実績 (2022年3月現在)

※2モデリングとはシミュレーション・ソフトウェアを活用して、物理法則等にしたい物理現象等のシミュレーションモデルを構築、解析することです。経験豊富なエンジニアによる支援が不可欠です。

# シミュレーションへの専門度の高さ、広い顧客領域が当社の特長です。



※ 各社IR資料をもとに当社作成

## サイバネットシステムの特長

- 高い専門性技術を備え、幅広いシミュレーション領域をカバー。
- 約2,400企業&350大学・研究機関のユーザーに提供。
- これまではモノづくり向けにシミュレーションを提供してきたが、モノづくり以外の分野向けにも注力。



# 数字で見るサイバネット

## ① 豊富な実績 高い信頼

日本での  
実績 **37**年

米国スーパーコンピューター会社の東京拠点が原点。一貫して製造業の開発・設計シミュレーションを支援。

## ② シミュレーションの リーダー

機械系  
CAE市場 国内 **1**位

日本市場での機械系CAEソフトウェア販売1位。

## ③ 技術に強い人財

エンジニア  
比率 **45**%

グループ社員の45%がエンジニア。  
コンピューター知識と工学知識、経験が強み。

## ④ 積極的なナレッジ提供 CAEユニバーシティ開催<sup>1</sup>

**110**回/年

他社にはない当社独自の取り組み。シミュレーションの実務者に質量ともに圧倒的な学びの場を提供。

## ⑤ 最強のCAE製品開発 ベンダーと良好な関係

当社が取扱う  
ANSYS社のCAE製品 世界 **1**位

ANSYS社はCAE製品世界シェア約38%のトップ企業。同社の最高レベルパートナーに8年連続で認定。

## ⑥ 強固な財務体質

ネット金融  
資産<sup>2</sup> **153**億円

強い財務体質により、成長投資と株主還元の両立が可能。

## ⑦ 安定かつ高い株主還元

DOE（自己資本配当率）

**6**%

DOEを6.0%とし、中長期の増配を目指す。

※ 2022年12月31日現在

<sup>1</sup> 当社で開催しているCAEのセミナー。

<sup>2</sup> 現預金＋有価証券＋短貸付金－有利子負債

# ビジョン、ミッション

## VISION

### ビジョン

(将来のありたき姿 (存在意義))

技術とアイデアで、社会に  
サステナビリティとサプライズを。

## MISSION

### ミッション

(ビジョンに向けて、現在の事業を通じて果たす役割)

想像を超える、創造力で、  
課題のブレークスルーを導く。

# IR室

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地

## E-MAIL

irquery@cybernet.co.jp

## Webサイト

<https://www.cybernet.co.jp/>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。  
本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したのですが、その安全性を保証するものではありません。  
また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。  
記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。  
投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。